

各感染症対策主管課長
各 医 師 会 長 殿
定点観測医療機関長

福岡県医師会
会 長 蓮 澤 浩 明
(公印省略)

福岡県結核・感染症発生動向調査解析委員会 週報

週報 令和7年—第14週 (R7. 3.31~R7. 4. 6)

病 名	定点報告数 (○: 警報レベル、□: 注意報レベル)						1 定点当たり	
	9週	10週	11週	12週	13週	14週	福岡県	全国
							14週	
	2/24~	3/3~	3/10~	3/17~	3/24~	3/31~	3/31~	
インフルエンザ	348	386	394	310	294	211	1. 07	1. 20
新型コロナウイルス感染症	1014	738	681	514	368	248	1. 26	2. 14
RSウイルス感染症	299	382	394	334	236	186	1. 56	0. 80
咽頭結膜熱	26	68	71	50	47	60	0. 50	0. 25
A群溶レン菌咽頭炎	408	455	371	389	349	280	2. 35	1. 71
感染性胃腸炎	1677	1624	1460	1333	1191	1005	8. 45	6. 41
水痘	32	78	26	34	31	23	0. 19	0. 27
手足口病	9	12	15	6	3	4	0. 03	0. 04
伝染性紅斑	25	46	75	56	81	45	0. 38	0. 63
突発性発しん	40	31	23	34	27	38	0. 32	0. 22
ヘルパンギーナ	2	1	0	0	0	1	0. 01	0. 01
流行性耳下腺炎	3	2	3	4	4	4	0. 03	0. 03
川崎病 (MCLS)	6	10	16	12	9	12	0. 06	
マイコプラズマ肺炎	31	40	40	36	19	16	0. 13	
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0. 00	
無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0. 00	
急性脳炎	0	0	1	0	0	0	0. 00	
急性出血性結膜炎	0	0	1	3	2	0	0. 00	0. 05
流行性角結膜炎	4	9	13	16	5	5	0. 19	0. 77

月報 令和7年—2月 (R7.2.1~R7.2.28)

病 名	定点報告数	前月比	主な増加地区等	1 定点当たりの患者数	
				福岡県	全 国
性器クラミジア感染症	84	69%	福岡37、北九州22	2. 27	2. 07
性器ヘルペス	41	105%	福岡23、筑後11	1. 11	0. 76
尖圭コンジローマ	22	81%	福岡10、北九州6	0. 59	0. 45
淋菌感染症	31	67%	福岡12、北九州7	0. 84	0. 54

■ 総 評

- ◎ 第15週(4月7日~4月13日)から、感染症法施行規則の一部を改正する省令に基づき、既存の小児科定点とインフルエンザ/COVID-19 定点を新たにARI 定点とし、ARI サーベイランスを実施します。ARI 定点の先生方には、今後ともご協力よろしくお願いします。
- ▽ 2025 年第14 週: R7. 3/31-4/6 はインフルエンザが3 週連続減少。定点当り 1. 07、キットではA 型46 人、B 型98 人とB 型が多い。新型コロナウイルス感染症もRS ウイルス感染症も減少傾向。感染性胃腸炎ではノロもロタも報告がある。ヒトメタニューモの報告が多い。福岡県から麻しんが3 人報告がある。

■ インフルエンザ・COVID-19

- ※ インフルエンザ: 3 週連続減少、定点当り 1. 07(前週 1. 49 ; 20 歳以上 19. 9%)、キットではA 型46 人、B 型98 人とB 型がA 型より多い、全国定点当り 1. 20。
- ※ 新型コロナウイルス感染症: 減少傾向が続く(20 歳以上 69. 7%)、定点当り 1. 26、全国定点当り 2. 14。

■ 小児科

- ※ RSウイルス感染症：減少傾向だが今後の動向に注意(4歳以上9人)。
- ※ A群溶レン菌咽頭炎：発疹合併：2歳男、5歳男、8歳男。
- ※ 感染性胃腸炎：3歳以下41.7%。減少傾向。ノロウイルスもロタウイルスも報告がある。
 - ・カンピロバクター：11歳男、女、22歳女。
 - ・サルモネラ：07群：10歳男。
 - ・大腸菌：5歳男にO25。
 - ・ロタウイルス：1歳女、2歳男、女3人、3歳女、4歳男3人、女2人、5歳男4人、女3人、6歳男2人、女2人、7歳男、女、8歳男、9歳男、女。
 - ・アデノウイルス：10か月男女。
 - ・ノロウイルス：6か月男、6-11か月女、1歳男5人、女3人、3歳男、4歳女、5歳女、6歳女。
- ※ 水痘：15歳以上1人。ワクチン済例：3歳女(R5. 7/110にVZ343、R6. 1/17にVZ349；軽症)、4歳男(接種時期等不明の2回；中等症)、4歳女(R3. 8/10にVZ308、R3. 11/19にVZ311；軽症)、5歳男(R2. 4/28にVZ277、R2. 10/28にVZ291；軽症)、6歳女(R1. 8/26にVZ259；中等症)、7歳女(H30. 11/27にVZ232、R1. 7/4にVZ256；軽症)、8歳男(H29. 10/10にVZ209、H30. 1/12にVZ215；軽症)、9歳女(H28. 8/27にVZ173、H29. 4/19にVZ194；中等症)、9歳女(H28. 9/21にVZ181、H29. 5/2にVZ195；中等症)、10歳男(接種時期等不明の2回；中等症)、10-14歳女(接種時期等不明；軽症；祖父の帯状疱疹から)、12歳男(接種時期等不明の2回；程度不明)、12歳女(H26. 11/11にVZ125、H28. 4/19にVZ171；中等症)。
- ※ 伝染性紅斑：増減をくり返し、今後の動向に注意。
- ※ 流行性耳下腺炎：15歳以上0人。ワクチン済例：6歳女(R1. 12/7にVZA004A、R6. 10/9にG957；軽症)、8歳男(3歳時にZVA015A；軽症)。
- ※ マイコプラズマ肺炎：15歳以上0人。減少傾向。抗原検査：7歳女。遺伝子検査：8歳女、12歳男、13歳男。抗体検査：9歳女(640)、14歳男(PA：320)。
- ※ その他の疾患：ヒトメタニューモ：前週151人、今週107人で減少。

■ 眼科

- ※ 流行性角結膜炎：キット陽性：報告なし。

■ 基幹

- ※ マイコプラズマ肺炎：13歳男。
- ※ 感染性胃腸炎(ロタウイルス)：5歳女、6歳女。

■ ウイルス分離

- ※ インフルエンザ：1/14の8歳男、1/15の4歳女、1/28の8歳男、1/29の8歳男からA/H1pdm09型、1/15の8歳男、2/14の8歳女からA/H3型、2/11の11歳女からA/H1pdm09型+A/H3型[北九州市保健環境研究所]。

■ 全数報告

- ※ 腸管出血性大腸菌：全国今週7人、累計328人、福岡県今週0人、累計13人。
- ※ 重症熱性血小板減少症候群：全国今週0人、累計2人、福岡県累計0人。
- ※ デング熱：全国今週1人、全国累計40人、福岡県今週0人、福岡県累計3人。
- ※ 劇症型溶レン菌感染症：全国累計455人、福岡県累計25人。
- ※ 梅毒：全国累計3453人、福岡県累計220人。
- ※ 百日咳：全国累計5652人、福岡県累計304人。10歳男と11歳女はIgM陽性。
- ※ 風しん：全国第14週に1人(富山県)、全国累計5人(秋田1、栃木1、東京1、富山1、京都1)。
- ※ 麻疹：全国第14週に6人(千葉県～兵庫県)、全国累計66人(宮城～福岡；福岡3)。

- ◎ 大島呼吸器内科クリニックの大島司先生、東和病院の益川眞一先生、あまもと小児科医院の天本祐輔先生、いわさき小児科内科の岩崎哲巳先生、おかざきこどもクリニックの岡崎寛先生、小松医院の小松千代先生、たいらく小児科医院の大瀬雅史先生、田中こどもクリニックの田中正章先生、つだこどもクリニックの津田恵次郎先生、西村医院の西村慎太郎先生、吉村こどもクリニックの吉村和子先生、橋本小児科内科医院の橋本広好先生、北九州市立医療センター小児科の中野徹先生、須子医院の須子保先生、田中ひろし小児内科医院(小児科)の田中耕一先生、ゆげ子どもクリニックの戸川建先生、高尾医院の高尾伸也先生、二見医院の二見玄次郎先生、けやき会東病院の東隆司先生、さかうえ内科循環器科クリニックの坂上明彦先生、博和会武元内科クリニックの武元良祐先生、英内科クリニックの田中英明先生、佐藤クリニックの佐藤茂先生、西福岡病院の渡邊憲太郎先生、やまじ内科クリニックの山路浩三郎先生、中村内科医院の中村晋先生、小林内科小児科糖尿病内科医院の小林研次先生、岡田こどもクリニックの岡田純一郎先生、松本小児科医院の松本一郎先生。

◎ 内田こどもクリニックの内田理彦先生、木下小児科医院の木下正教先生、梅野小児科内科医院の梅野英輔先生、あおぼクリニックの伊藤大樹先生、高崎小児科医院の高崎好生先生、荒木小児科の荒木速雄先生、桜坂なかやまこどもクリニックの中山英樹先生、あおみ小児科医院の青見裕子先生、香月内科クリニックの香月司先生、恵山会丸山病院の岡部眞典先生、おの子どもクリニックの小野栄一郎先生、ひろたこどもクリニックの廣田雄一先生、もり小児科医院の森勝義先生、横山小児科医院の横山隆人先生、藤沢内科クリニックの藤澤明先生、奥小児科医院の奥郁美先生、やました小児科医院の山下祐二先生、うえだこどもクリニックの上田義治先生、社会保険仲原病院の大神吉光先生、満安内科医院の安森耕先生、こでまり小児科クリニックの堤康先生、森小児科クリニックの森俊憲先生、よしお小児科クリニックの吉岡玲子先生、さがら内科循環器科医院の相良洋治先生、片山医院の片山幸樹先生、一木こどもクリニックの一木貞徳先生、社会保険直方病院の田中伸之介先生、あざかみこどもクリニックの阿座上才紀先生、尾上小児科医院の尾上嘉浩先生、社会保険田川病院(内科)の黒松肇先生、田川市立病院(内科)の鴻江俊治先生、正久会荒木小児科医院の荒木久昭先生、たなかのぶお小児科医院の田中信夫先生、田川市立病院(小児科)の鴻江俊治先生、いもむち小児科の伊牟田富佐恵先生、かとう小児科医院の加藤榮司先生、河野小児科医院の河野信青先生、済生会大牟田病院の稲吉康治先生、こが小児科医院の古賀龍夫先生、末吉小児科内科医院の末吉圭子先生、合原医院の合原るみ先生、戸次循環器科内科医院の戸次久敏先生、川上小児科の川上晃先生、杉村こどもクリニックの杉村徹先生、富田医院の富田尚文先生、きたの小児科医院の北野明子先生、たかせ小児科医院の高瀬英生先生、富田小児科医院の中村舞先生、田中内科医院の田中泰之先生、白寿会安本病院の安本潔先生、益子医院の益子直己先生、よこち小児科医院の横地一興先生、ほまえみクリニックの樋口恵美先生、上田内科胃腸科医院の上田隆先生、以上の先生方が第14週(3月31日～4月6日)の報告をもって、定点医療機関としての役割を終了いただくこととなりました。ご協力ありがとうございました。

※ 福岡県医師会ホームページの感染定数欄にも掲載されていますので下記URL及びQRコードよりご参照下さい。

URL : https://www.fukuoka.med.or.jp/doctors/kansenshou/_11717.html

ホーム>医師の皆様>感染症・予防接種>感染症発生動向調査

青 木 知 信



定点把握対象疾患 1 定点医療機関当たり患者数 【保健所別】

定点把握対象疾患 報告数 【年齢階級別】

[illegible]

全数把握対象疾患発生状況

令和7年－第14週(R7.3.31～R7.4.6)

感染症 類 型	日付 疾病名	福岡累計					福岡					全国
		2020	2021	2022	2023	2024	11週	12週	13週	14週	25年 累計	14週
二類	結核	759	757	733	718	883	11	16	11	7	175	157
三類	細菌性赤痢	1			1	2						
	腸管出血性大腸菌感染症	181	182	254	215	172	1		2		13	7
	腸チフス				2	3					1	
	パラチフス											1
四類	E型肝炎	4	6	1	9	8	1				2	12
	A型肝炎	5	2	5	3	11					4	3
	エムボックス				1	1						1
	ジカウイルス感染症				1							
	重症熱性血小板減少症候群	2	1	5	2	4						
	チクングニア熱			1	1	1						
	つつが虫病	4	3	7	6	1					1	1
	デング熱	1		10	14	10	1				3	1
	日本紅斑熱		7	6	11	8						1
	ボツリヌス症	1										
	マラリア	2		1	2	1						1
	ライム病			1	1							
	レジオネラ症	56	60	71	89	77	1	1	1		13	27
	レプトスピラ症		1	3		3						
五類	アメーバ赤痢	14	17	26	22	25		1		1	7	2
	ウイルス性肝炎	13	8	6	9	6					2	5
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	116	128	110	112	147	2	1	5	4	30	24
	急性弛緩性麻痺	2		3	5	1					1	
	急性脳炎	24	22	22	35	29		1		1	12	6
	クリプトスポリジウム症	1			2	1						
	クロイツフェルト・ヤコブ病	3	7	9	6	6			1		1	2
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	26	23	32	48	67	1	2		3	25	21
	後天性免疫不全症候群	41	54	63	59	56	1	1	2	1	9	10
	ジアルジア症	1	2	2	1	3						2
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	14	14	13	19	28			1		7	11
	侵襲性髄膜炎菌感染症			1		3					1	
	侵襲性肺炎球菌感染症	79	81	64	89	116	4	4	1	3	46	65
	水痘(入院例に限る)	17	16	5	12	27					7	7
	梅毒	314	348	566	942	880	11	13	10	19	220	195
	播種性クリプトコックス症	6	5	3	10	7						1
	破傷風	3	2	3	6	1						1
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	9	3	5	4							
	百日咳	105	29	25	24	216	21	32	26	40	304	722
	風しん	5		1	1							1
	麻しん	1	1			1			3		3	6
	薬剤耐性アシネトバクター感染症	1	1	1								
計		1811	1780	2058	2482	2805	55	72	63	79	887	1,293

全数把握対象疾患発生状況（保健所別）
令和7年－第14週（R7.3.31～R7.4.6）

感染症 類 型	保健所 疾病名	保健所													計
		北九州市	福岡市	久留米市	宗像・遠賀	粕屋	筑紫	糸島	田川	北筑後	南筑後	京築	嘉穂・鞍手		
二類	結核	1	1	2					1		1		1	7	
三類	細菌性赤痢														
	腸管出血性大腸菌感染症														
	腸チフス														
	パラチフス														
四類	E型肝炎														
	A型肝炎														
	エムボックス														
	ジカウイルス感染症														
	重症熱性血小板減少症候群														
	チクングニア熱														
	つつが虫病														
	デング熱														
	日本紅斑熱														
	ボツリヌス症														
	マラリア														
	ライム病														
	レジオネラ症														
	レプトスピラ症														
五類	アメーバ赤痢		1											1	
	ウイルス性肝炎														
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	1	3											4	
	急性弛緩性麻痺														
	急性脳炎	1												1	
	クリプトスポリジウム症														
	クロイツフェルト・ヤコブ病														
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1			1		1							3	
	後天性免疫不全症候群		1											1	
	ジアルジア症														
	侵襲性インフルエンザ菌感染症														
	侵襲性髄膜炎菌感染症														
	侵襲性肺炎球菌感染症	1		1			1							3	
	水痘（入院例に限る）														
	梅毒	2	16		1									19	
	播種性クリプトコックス症														
	破傷風														
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症														
	百日咳	3	7	8	2	3	6		2	1	6	2		40	
	風しん														
麻しん															
薬剤耐性アシネトバクター感染症															
計		10	29	11	4	3	8		3	1	7	2	1	79	